

SGD001-05

会場: 201A

時間: 5月28日14:45-15:00

## 陸水荷重による年周地殻変動について

### Interannual crustal deformation driven by hydrological load

松尾 功二<sup>1\*</sup>, 日置 幸介<sup>1</sup>

Koji Matsuo<sup>1\*</sup>, Kosuke Heki<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学大学院理学院自然科学専攻

<sup>1</sup>Natural History Sci., Hokkaido Univ.

大気循環によって駆動される大陸・海洋間の水循環は、その質量の移動に伴い地球の重力場を変動させる。特に土壌水分や雪氷などに代表される陸域の水（陸水）は海水より移動性が小さいため、Gravity Recovery and Climate Experiment (GRACE)等の重力衛星で観測可能な緩やかで大規模な重力変化をもたらす。一方陸水はその重量によって地球を荷重変形させる。本研究では陸水荷重を、(1) Global Positioning System(GPS)による荷重変形の計測、(2) GRACEによる重力変化の計測、の二つの切り口でとらえ、地球の弾性変形モデルと併せてそれらの間の整合性を議論する。

キーワード: 地殻変動, 荷重変形, GPS, GRACE

Keywords: crustal deformation, load deformation, GPS, GRACE